



TITLE:

彙報

AUTHOR(S):

CITATION:

彙報. 人文 2007, 54: 22-34

ISSUE DATE:

2007-06-30

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/50626>

RIGHT:

彙報

計報

。FORTE, Antonino 文化研究創成研究部門客員教授（六五歳）は、七月二日逝去。

。柳田聖山名誉教授（八三歳）は、十一月八日逝去。

。古屋哲夫名誉教授（七五歳）は、十二月二日逝去。

。尾崎雄二郎名誉教授（八十歳）は、十二月八日逝去。

人のういき

。籠谷直人助教授（人文学研究部）は当研究所教授（人文学研究部）に昇任（四月一日付）。

。FORTE, Antonino ナポリ東洋大学教授・イタリア国立東方学研究所長は、客員教授（文化研究創成研究部門、四月一日〜二〇〇七年三月三十一日）。

。LACHAUD, Francois フランス極東学院京都支部長は、客員助教授（文化

研究創成研究部門、四月一日〜二〇〇七年三月三十一日）。

。古勝隆一千葉大学大学院助教授を助教授（東方学研究部）に採用（十月一日付）。

。向井佑介氏を助手（附属漢字情報研究センター）に採用（十二月一日付）。

。佐野誠子（東方学研究部）助手は辞任（二〇〇七年三月三十一日付）の上、和光大学表現学部講師就任。

海外での研究活動

。王寺賢太助教授（人文学研究部）は、

三月十八日大阪発、フランス国立図書館、国際哲学コレージュ、パリ第一ソルボンヌ大学に於いて学術協定打合せ及び十八世紀フランス歴史叙述についての調査・研究を行い、四月八日帰国。

。籠谷直人教授（人文学研究部）は、四月六日大阪発、香港大学アジア研究センターに於いて、セミナー「アジアの視点からの香港と日本について」にて

報告を行い、四月八日帰国。

。田中雅一教授（人文学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、四月五日大阪発、マリオット・ホテルに於いてアメリカ・アジア学会国際会議へ出席し、軍事史研究所に於いてアメリカ軍の式典についての資料調査を行い、四月十五日帰国。

。高田時雄教授（東方学研究部）は、文部科学省研究拠点形成費補助金により、四月十七日大阪発、米国議会図書館、メトロポリタン美術館に於いて、漢字文献保存状況の調査を行い、四月二十五日帰国。

。大浦康介教授（人文学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、四月二十一日大阪発、フランス社会科学高等研究院並びにパリ第七大学、フランス国立図書館に於いて、フィクション研究に関するセミナーに出席し研究打合せ及び資料収集を行い、五月四日帰国。

。加藤和人助教授（人文学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、五月十六日大阪発、ソウルCOEXに

於る「Public Communication of Science and Technology」に出席及び発表を行い、五月二十一日帰国。

。高田時雄教授（東方学研究所）は、五月二十日大阪発、上海師範大學に於いて「敦煌の民族と言語」・「日本敦煌學簡史」についての講演を行い、五月二十五日帰国。

。富永茂樹教授（人文学研究部）は、五月十五日大阪発、グルベンキアン文化センターパリに於いて、「京都―リスボン、都市の憂鬱」について講演を行い、国立図書館で資料収集を行って、五月二十八日帰国。

。菊地曉助手（人文学研究部）は、五月二十六日大阪発、韓国学中央研究院に於いて、地域資源としての「景観」の保全ならびに活用に関する研究会に参加、江陵端午祭にて世界無形遺産登録江陵の現地調査を行い、五月三十一日帰国。

。加藤和人助教授（人文学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、五月三十日大阪発、ヘルシンキ・フェアセンターに於いて、ヒトゲノム国際機構（HUGO）第十一回年会にて研

究発表及び理論委員会に出席し、六月四日帰国。

。高田時雄教授（東方学研究所）は、六月十五日大阪発、キヨソネ美術館に於いて所蔵の漢籍の調査を行い、六月二十日帰国。

。高木博志助教授（人文学研究部）は、六月十八日大阪発、慶尚南道統営群閑山面に於いて、壬辰倭乱をめぐる国際シンポジウムへ参加し、六月二十二日帰国。

。竹沢泰子教授（人文学研究部）は、四月五日成田発、マサチューセッツ工科大学、ハーバード大学に於いて、人種・人種主義と科学との関係について研究を行い、渡航中、文部科学省科学研究費補助金により、六月十二日～十五日・六月二十二日～二十八日、ニューヨーク州立大学、ハーレム・スタジオ・ミュージックアジア系アメリカ人アートセンター、ワシントン大学に於いて、人種の表象と表現の研究に関する資料収集を行い、六月三十日帰国。

。水野直樹教授（人文学研究部）は、七月二日大阪発、延世大学校、忠清南道

に於いて、延世大学校国学研究院主催国際學術大会に参加及び発表を行い、七月八日帰国。

。ウィッテルン、クリステイアン助教授（附属漢字情報研究センター）は、文部科学省研究拠点形成費補助金により、六月三十日大阪発、チュービンゲン大学、ソルボンヌ大学に於いて、研究打合わせ及び国際人文情報学会への出席・研究報告を行い、七月十一日帰国。

。高田時雄教授（東方学研究部）は、文部科学省研究拠点形成費補助金により、七月四日大阪発、ロシア科学院東洋学研究所サンクト・ペテルブルグ支所に於いて敦煌学国際検討会の打合せ及びロシア所蔵漢字文献の調査を行い、七月十二日帰国。

。藤井正人教授（人文学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、七月九日大阪発、エディンバラ大学に於いて、第十三回世界サンスクリット会議に出席し、七月十六日帰国。

。ウィッテルン、クリステイアン助教授（附属漢字情報研究センター）は、七月十七日大阪発、中華仏学研究所およ

び中華電子仏典協会に於いて出講、研究打合せを行い、七月二十六日帰国。

。曾布川寛教授（東方学研究所）は、七月三十日大阪発、太原市文物考古研究所、山西省博物館、北京大学に於いて中国美術の調査と資料蒐集を行い、八月三日帰国。

。中西裕樹助手（東方学研究所）は、文部科学省科学研究費補助金により、八月一日大阪発、香港城市大学、海豊県誌弁公室に於いて、中国広東省に分布するシオオ語の研究打合せ、現地調査および資料収集を行い、八月十七日帰国。

。富谷至教授（東方学研究所）は、文部科学省科学研究費補助金により、八月八日大阪発、ストックホルム大学及びライデン大学に於いて科学研究費基盤研究Sの開始に伴う研究打合せを行い、八月十八日帰国。

。坂本優一郎助手（人文学研究所）は、文部科学省科学研究費補助金により、八月八日大阪発、ロンドン・メトロポリタン・アーカイヴズに於いて公債起債関係資料の調査を行い、八月二十四

日帰国。

。山崎岳助手（附属漢字情報研究センター）は、八月十三日大阪発、寧波大学、双嶼港、馬喬博物館等に於いて東アジア海域交流と日本伝統文化に関するフィールド調査及び資料収集を行い、八月二十四日帰国。

。池田巧助教授（東方学研究所）は、文部科学省科学研究費補助金により、七月三十一日大阪発、中央民俗大学及び西南民俗大学に於いて西南中国の言語にかんする文献調査及び康定近郊にてムニャ語とリュズ語の調査を行い、八月二十五日帰国。

。岡村秀典教授（東方学研究所）は、文部科学省科学研究費補助金により、八月十三日大阪発、山西省考古研究所、山西博物院、北京大学等に於いて北魏文物、雲岡石窟・平城遺跡の調査を行い、八月二十六日帰国。

。籠谷直人教授（人文学研究所）は、文部科学省科学研究費補助金により、八月十九日大阪発、ヘルシンキ大学に於いて第十四回国際経済史学会に参加、研究報告し、八月二十八日帰国。

。古松崇志助手（東方学研究所）は、八月二十二日大阪発、北京に於いて、総合地球環境学研究所との共同研究プロジェクト「民族／国家の交錯と生業変化を軸とした環境史の解明」のため歴史遺跡及び現状についてフィールド調査を行い、八月二十七日帰国。

。森時彦教授（東方学研究所）は、科学技術振興調整費により、八月十八日大阪発、山西省社会科学院、近代史研究所に於いて、山西省、北京市、河北省における環境問題調査および国際学会「一九一〇年代の中国」に参加し、八月三十日帰国。

。石川禎浩助教授（東方学研究所）は、科学技術振興調整費により、八月十八日大阪発、山西省社会科学院、近代史研究所に於いて、山西省、北京市、河北省における環境問題調査および国際学会「一九一〇年代の中国」に参加し、八月三十日帰国。

。宮紀子助手（東方学研究所）は、八月二十二日大阪発、ウズベキスタン、カザフスタン、キルギスタン、中国に於いて、総合地球環境学研究所との共同

研究プロジェクト「民族／国家の交錯と生業変化を軸とした環境史の解明」のため歴史遺跡及び現状についてフィールド調査を行い、九月六日帰国。

。田辺明生助教授（人文学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、七月三十一日大阪発、ブバネーシユワル及びプリー近郊に於いて、民主化にともなう社会変容についてのフィールド調査、デリー大学に於いてインド民主主義に関する研究打合せ、資料収集を行い、九月九日帰国。

。森時彦教授（東方学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、九月七日大阪発、社会科学院近代史研究所及び新河県政府に於いて中国県制に関する調査、資料収集を行い、九月十三日帰国。

。高田時雄教授（東方学研究部）は、文部科学省研究拠点形成費補助金により、九月七日大阪発、南京師範大学、上海図書館に於いて「転型的敦煌学―継承興発展―国際学術検討会出席、漢学文献の調査を行い、九月十三日帰国。

。王寺賢太助教授（人文学研究部）は、

九月九日大阪発、トロワリヴィエール大学、ケベック大学に於いて国際十八世紀学会若手セミナー『啓蒙と歴史』に参加し、九月十八日帰国。

。倉島哲助手（人文学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、八月二十二日大阪発、上海第二工業大学、新郷市、上海市に於いて、現地における武術の実践に関する調査を行い、九月十八日帰国。

。池田巧助教授（東方学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、九月九日大阪発、カルフォルニア大学、ワシントン大学に於いてチベット・ビルマ語のデータベース利用に関する打合せ及び第三九回国際漢藏語学会に参加し、九月十九日帰国。

。李昇燁助手（人文学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、九月十八日大阪発、大韓民国政府・国家記録院に於いて戦前朝鮮における民族問題に関する資料調査を行い、九月二十三日帰国。

。岩井茂樹教授（東方学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、九

月十一日大阪発、中国社会科学院歴史研究所、第一歴史檔案館、南開大学、国家図書館に於いて、学術講演および資料調査を行い、九月二十四日帰国。

。富谷至教授（東方学研究部）は、九月二十一日大阪発、ソウル市内、忠北大学に於いて、「張家山漢簡、二年律令及び韓国の法制」に関する学術大会に出席及び研究発表し、九月二十四日帰国。

。矢木毅助教授（東方学研究部）は、九月二十一日大阪発、清州市、忠北大学に於いて、「張家山漢簡、二年律令及び韓国の法制」に関する学術大会に出席及び研究発表し、九月二十四日帰国。

。齋藤智寛助手（附属漢字情報研究センター）は、八月二十七日大阪発、中央研究院歴史語言研究所に於いて資料調査、研究打合せを行い、九月二十五日帰国。

。石川禎浩助教授（東方学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、九月十一日大阪発、スタンフォード大学フーバー研究所、国立公文書館、ワシントン大学に於いて、中国社会主义

運動に関する資料調査及び研究打合せを行い、九月二十六日帰国。

。田中雅一教授（人文学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、九月二十一日大阪発、ロンドン大学、ランカスター大学に於いて、インド系移民調査「Gender and Spiritual Praxis in Asian Contexts Conference」に

出席し、ヘブライ・エルサレム大学に於いて「War and Peace in Asia」国際会議にて講演し、十月六日帰国。

。久保昭博助手（人文学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、十月四日大阪発、テアトル・ド・ラ・マニユファクチュール、フランス国立図書館に於いて、レーモン・クノー国際シンポジウム出席及び研究発表と文学理論に関する資料収集を行い、十月十五日帰国。

。大浦康介教授（人文学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、十月十八日大阪発、社会科学高等研究院に於いて、GDR全体会議に出席し、フィクション論関係資料収集を行い、十月二十四日帰国。

。田中雅一教授（人文学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、十月二十五日大阪発、シンガポール大学及びビンタン地方に於いて、東アジアのインド人移民についての国際会議に出席し、シンガポールとインドネシアの関係について現地調査を行い、十月三十日帰国。

。ウィッテルン、クリスティアン助教授（附属漢字情報研究センター）は、文部科学省科学研究費補助金により、十月三日大阪発、ミュンスター大学、ベルリン国家図書館に於いて漢字研究ナレッジベースについての研究打合せと資料収集及び出講、ヴィクトリア大学に於いて「TEIのメモバース・ミーツィング二〇〇六年」出席、TEIの国際化について研究打合せを行い、十一月一日帰国。

。船山徹助教授（東方学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、十月三十日大阪発、人民大学に於いて中国仏教史に関する資料収集と打合せ及び中日仏学会議に出席・研究発表し、十一月四日帰国。

。高木博志助教授（人文学研究部）は、十月二十九日大阪発、オーストラリア国立図書館、ユダヤ博物館、世界遺産地区、オーストラリア抵抗史料研究所に於いて、共同研究「国民国家の比較史的研究」に関する調査を行い、十一月四日帰国。

。森時彦教授（東方学研究部）は、科学技術振興調整費により、十月三十日大阪発、復旦大学、浙江交通運輸建設股份有限公司に於いて中国環境問題に関する研究打合せ及び中国交通環境に関する調査を行い、十一月五日帰国。

。齋藤智寛助手（附属漢字情報研究センター）は、文部科学省科学研究費補助金により、十月二十六日大阪発、雲林科技大学漢字資料整理研究所、竜山寺、国家図書館に於いて、「二〇〇六年漢字研究国際學術検討会」に出席し、仏教および道教信仰に関する研究の現地調査、資料収集を行い、十一月五日帰国。

。竹沢泰子教授（人文学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、十月二十六日成田発、ハーバード大学に

於いて、「人種概念の普遍性」英語版出版打合せ、アジア協会、カルフォルニア大学アーヴァイン校、筑波大学に於いて、アジア系アメリカ人に關する資料収集を行い、十一月九日帰国。

。石川禎浩助教授（東方学研究部）は、科学技術振興調整費により、十一月三日大阪発、新会市内、中山市内、香港里拉大酒店に於いて、広東省における環境調査及び「紀念孫中山誕辰一四〇周年學術討論會」に出席、研究報告を行い、十一月九日帰国。

。竹沢泰子教授（人文学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、十一月十一日大阪発、中山大学に於いてシンポジウム「境界のないアジア」に参加し、十一月十四日帰国。

。水野直樹教授（人文学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、十一月十六日大阪発、大田市内、忠南大に於いて、韓国社会史学会に参加及び資料調査を行い、十一月二十一日帰国。

。藤井正人教授（人文学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、十

一月十八日大阪発、インド考古局、マハラジャ・サラジラオ大学東洋研究所、Lal Chaud 學術圖書館に於いて、ヴェーダ文獻傳承の現地調査を行い、十一月二十六日帰国。

。山崎岳助手（附屬漢字情報研究センター）は、十一月二十一日大阪発、ホテル・インターコンチネンタル・マニラ、フィリピン国立圖書館に於いて、IAHAにおける學術報告及び十六世紀の華人に關する資料調査を行い、十一月二十七日帰国。

。佐野誠子助手（東方学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、十二月五日大阪発、北京大学に於いて六朝文学国際研究会議へ参加及び研究発表を行い、十二月九日帰国。

。金文京教授（東方学研究部）は、十二月七日大阪発、中央研究院歴史語言研究所に於いて、俗文学學術研討会に参加及び基調講演を行い、十二月九日帰国。

。王寺賢太助教授（人文学研究部）は、十二月九日大阪発、フランス国立圖書館に於いてコロック「レナルとそのネ

ットワーク」に参加し、十二月二十三日帰国。

。岡田暁生助教授（人文学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、十二月十九日大阪発、バイエルン国立圖書館に於いて、十九世紀の音楽史關係の資料調査を行い、十二月二十六日帰国。

。高田時雄教授（東方学研究部）は、文部科学省科学研究費補助金により、十二月二十四日大阪発、長榮中學圖書館に於いて、表音文字による中國語資料の調査を行い、十二月二十九日帰国。

。森時彦教授（東方学研究部）は、科学技術振興調整費により、十二月二十一日大阪発、上海市檔案館、徐州師範大學、青島市檔案館等に於いて、中國環境問題に關する調査・研究打合せ・資料収集を行い、十二月三十日帰国。

。坂本優一郎助手（人文学研究部）は、二〇〇七年一月一日大阪発、メトロポリタン・アーカイブズに於いて、年金証券關係資料の調査を行い、二〇〇七年一月五日帰国。

。中西裕樹助手（東方学研究部）は、文

部科学省科学研究費補助金により、二〇〇七年一月十八日大阪発、香港中文大学に於いて、言語接触に関する資料収集及び第七回国際客家方言研討会に出席・研究発表し、二〇〇七年一月二十一日帰国。

。高田時雄教授（東方学研究所）は、二〇〇七年一月二一日大阪発、クラコフ大学に於いて、クラコフ大学ヤジエロンスカ図書館所蔵漢籍の調査研究を行っている、二〇〇七年一月二十八日帰国。

。田中雅一教授（人文学研究所）は、二〇〇七年一月七日大阪発、コンボ市内シンガポール市内に於いて、インド系マイノリティ研究についての調査を行っている、二〇〇七年二月二日帰国。

。田中淡教授（東方学研究所）は、文部科学省科学研究費補助金により、二〇〇七年二月二日大阪発、板橋林家花園、自然科学博物館、彰化孔廟等に於いて中国造園・園芸・農業史及び建築・生活技術史等に関する実地調査を行い、二〇〇七年二月六日帰国。

。稲葉穰助教授（東方学研究所）は、文部科学省科学研究費補助金により、二

〇〇七年一月二十九日大阪発、大英図書館、オックスフォード大学に於いて、中央アジアにおける宗教史についての資料調査を行い、二〇〇七年二月八日帰国。

。高井たかね助手（東方学研究所）は、文部科学省科学研究費補助金により、二〇〇七年二月二日大阪発、板橋林家花園、自然科学博物館、彰化孔廟、国立歴史博物館等に於いて、中国造園・園芸・農業史及び建築・生活技術史等に関する実地調査・資料収集、国立故宫博物館に於いて「開創典範—北宋の芸術興文化」研討会出席し、二〇〇七年二月六日帰国。

。曾布川寛教授（東方学研究所）は、二〇〇七年二月六日大阪発、故宫博物院中央研究院歴史語言研究所、北京市内に於いて、中国美術に関する調査・資料収集及び北宋芸術と文化研討会に出席し、二〇〇七年二月九日帰国。

。田辺明生助教授（人文学研究所）は、文部科学省科学研究費補助金により、二〇〇七年一月三十一日大阪発、ウトカル大学及び市街地と近郊村落に於いて、インド・オリッサにおける人種と

カーストの代表的表象に関する研究を行い、ペラデニア大学に於いてスリランカの宗教実践における人・モノ・言葉のネットワークの研究を行い、二〇〇七年二月十九日帰国。

。岡田暁生助教授（人文学研究所）は、文部科学省科学研究費補助金により、二〇〇七年二月十二日大阪発、ナポリ音楽院図書館に於いて十八世紀のイタリア・オペラの資料収集、バイエルン国立図書館に於いて第一次大戦期の音楽雑誌の調査を行い、二〇〇七年二月十九日帰国。

。森時彦教授（東方学研究所）は、文部科学省科学研究費補助金により、二〇〇七年二月十七日大阪発、常州市及び近郊に於いて、中国県制に関する現地調査を行い、二〇〇七年二月二十一日帰国。

。水野直樹教授（人文学研究所）は、文部科学省科学研究費補助金により、二〇〇七年二月十七日大阪発、成均館大学、鎮安郡歴史博物館等に於いて研究に関する資料調査を行い、二〇〇七年

二月二十三日帰国。

。安岡孝一助教授（東方学研究所）は、文部科学省研究拠点形成費補助金により、二〇〇七年二月十二日大阪発、ロサンゼルス公立図書館、サウスパサデナ公立図書館に於いて、文字コードとキー配列に関する所蔵調査を行い、二〇〇七年二月二十五日帰国。

。高田時雄教授（東方学研究所）は、文部科学省科学研究費補助金により、二〇〇七年二月十九日大阪発、ロシア科学アカデミー東洋学研究所に於いて、敦煌寫本他の調査研究を行い、二〇〇七年二月二十六日帰国。

。高木博志助教授（人文学研究所）は、文部科学省科学研究費補助金により、二〇〇七年二月二十六日大阪発、ソウル国立中央博物館に於いて、博物館展示と所蔵文書調査及び展示の比較史研究を行い、二〇〇七年二月二十八日帰国。

。中西裕樹助手（東方学研究所）は、文部科学省科学研究費補助金により、二〇〇七年二月二十一日大阪発、香港城市大学及び惠東県大湖洋村に於いて、

研究打合せ、旧正月の祭りと言語の調査及び資料収集を行い、二〇〇七年三月二日帰国。

。田中雅一教授（人文学研究所）は、文部科学省科学研究費補助金により、二〇〇七年二月二十二日大阪発、スタンフォード大学、陸軍歴史研究所等に於いて、軍隊の歴史人類に関する文献収集を行い、二〇〇七年三月三日帰国。

。石川禎浩助教授（東方学研究所）は、文部科学省科学研究費補助金により、二〇〇七年二月二十八日大阪発、四川省檔案館、四川師範大学等に於いて、中国社会主義運動に関する資料調査、紅軍強渡大渡河遺址、和平村日虜記念館等に於いて中国革命史旧跡の調査を行い、二〇〇七年三月十日帰国。

。籠谷直人教授（人文学研究所）は、科学技術振興調整費により、二〇〇七年三月十二日大阪発、中央研究院に於いて、華僑について資料調査及び研究会へ参加し、二〇〇七年三月十六日帰国。

。田中雅一教授（人文学研究所）は、二〇〇七年三月十日大阪発、ムンバイ市内に於いて、キリスト教文化・都市文

化・ヒンドゥー文化についての調査を行い、二〇〇七年三月二十一日帰国。

。富谷至教授（東方学研究所）は、二〇〇七年三月十五日大阪発、デンマーク国立博物館、ミュンスター大学、ライデン大学に於いて、東アジア考古文物の調査、二国間共同研究に関する研究打合せ、科研費Sの二〇〇七年度の研究に関する打合せを行い、二〇〇七年三月二十六日帰国。

。ウィッテルン、クリスティアン助教授（東方学研究所）は、二〇〇七年二月二十六日大阪発、中央研究院歴史語言研究所に於いて、唐代研究ナレッジベースのための研究打合せと資料収集を行い、二〇〇七年三月二十八日帰国。

外国人研究者

。EMMERICH, Reinhard ミュンスタル大学

唐代の判の研究

（文化生成研究各員部門）

受入教員 富谷教授

期間 九月一日～

二〇〇七年二月二十八日

。SAKAI, Cecile パリ第七大学教授

日本近代小説に見る虚構性構築の手法

(文化連関研究客員部門)

受入教員 大浦教授

期間 九月二十五日

二〇〇七年一月二十五日

。外村 中 ヴェルツブルグ大学講師

東アジアの古代園林

(文化連関研究客員部門)

受入教員 田中淡教授

期間 二〇〇七年二月十九日

六月三十日

。池上英子 ニュースクール大学大学院

教授

封建国家から近代へー徳川日本・清代

中国・オスマントルコ

(文化生成研究客員部門)

受入教員 高木助教授

期間 二〇〇七年三月一日

八月十五日

招聘外国人学者

。WANG, Ding ベルリン・ブランド

ンブルク科学院非常勤研究員

中央アジア版刻史の研究

受入教員 高田教授

期間 二〇〇五年十一月三日

二〇〇七年十一月二日(継続)

。GUMBRECHT, Cordula ドイツ国

立図書館東アジア部主任

吐魯番探検隊の研究・ドイツ隊と大谷

隊

受入教員 高田教授

期間 二〇〇五年十一月三日

二〇〇七年十一月二日(継続)

。ESPOSITO, Monica

道蔵輯の研究

受入教員 麥谷教授

期間 四月一日

二〇〇七年三月三十一日

。阿 風 中国社会科学歴史研究所

副研究員

中国明清時代における法律・裁判文書

の研究

受入教員 岩井教授

期間 四月五日

二〇〇七年三月三十一日

教授

祇園祭の歴史社会学的研究

受入教員 高木助教授

期間 五月二十六日

五月十三日

。陳 熙遠 中央研究院歴史語言研究所

助理研究員

清代法制史、近代思想史

期間 五月二十八日

五月二十七日

。于 志嘉 中央研究院歴史語言研究所

研究員

明代社会史および軍事史の研究

期間 五月二十八日

六月二十七日

。王 國良 台北大学古典文献学研究

所長

東アジア漢文小説研究

期間 六月十八日

七月五日

。張 啓雄 中央研究院・近代史研究所

「政教分離」と「政経一体」戦後日

本対台湾外交政策の形成と転換

期間 六月二十六日

八月十日

。黃 克武 中央研究院近代史研究所研

究員

日本の陽明学與中国近代化

受入教員 森教授

期間 六月二十七日～九月二十二日

。成 素梅 山西大学科学技术哲学研究センター教授

日本における物理学の受容とその科学哲学的考察

受入教員 武田教授
期間 六月二十八日
～十一月二十五日

。SMITH Henry ロンビア大学東アジア学科教授

日本近代建築史論、講談および浪曲における赤穂浪士

受入教員 高木助教授
期間 七月一日～

。黄 蘭翔 中央研究院台湾史研究所副研究員

関中創立戒壇図経にみえる唐代の仏教伽藍

受入教員 田中淡教授
期間 七月十四日～九月十三日

。陳 金華 プリテイッシュコロンビア大学準教授

中国八世紀初期の国家と宗教
受入教員 船山助教授

期間 七月二十五日～八月十九日

。崔 鳳春 広西師範大学社会文化興旅遊学院教授

日中戦争期中国における朝鮮人の抗日運動と日本人の反戦運動

受入教員 水野教授
期間 八月二日～十一月十五日

。LEDDEROSE, Lothar ハイデルベルク大学美術史研究所所長

房山雲居寺を中心とする中国仏教石刻資料と仏教儀礼空間

受入教員 田中淡教授
期間 九月二十五日～

。池上英子 ニュースクール大学大学院教授

祇園祭の歴史社会学的研究

受入教員 高木教授
期間 九月二十五日～

。阿 風 中国社会科学学院歴史研究所副研究員

中国明清時代における法律・裁判文書の研究

受入教員 岩井教授

期間 九月二十七日～十月二十六日

。VOGELSANG, Kai ハンセン大学ハイゼンベルグ特別研究員

Studies in the textual and literary criticism of the Tso-chuan (c. 4th c. BC)

受入教員 ウィッテルン助教授
期間 十月一日～

。高 啓安 蘭州商学院教授

シルクロード飲食文化の研究

受入教員 高田教授
期間 十月五日～

。LAPTEV, Sergey 実践東洋学大学院社会政治学部助教授

汎アジア科学技術起源論

受入教員 武田教授
期間 十月二十六日～

。鞏 文 中国社会科学学院考古研究所副研究員

三～六世紀の装身具からみた東アジアの文化交流

受入教員 岡村教授

期間 十二月六日、

二〇〇七年三月五日

。吳 小安 北京大学副教授

東南アジアにおける華僑ネットワーク
と国家形成

受入教員 籠谷教授

期間 二〇〇七年一月二日、

二〇〇七年三月一日

。金 秉駿 翰林大学教授

張家山漢簡「二年律令」の研究

受入教員 富谷教授

期間 二〇〇七年一月十日、

二〇〇七年二月一日

。徐 世虹 中国政法大学法律古籍整理
研究所長

中国法制史に関する資料収集と研究開
始出席

受入教員 富谷教授

期間 二〇〇七年一月十二日、

二〇〇七年二月二日

。黄 蘊知 香港中文大学助教

中国文化における基本的心理概念の系
譜

受入教員 高田教授

期間 二〇〇七年三月十日、

二〇〇七年三月十一日

。王 才強 国立シンガポール大学教授

唐・宋時代における中国および日本の
都市

受入教員 田中淡教授

期間 二〇〇七年三月十二日、

二〇〇七年四月二十日

外国人共同研究者

。ESPESSET, Gregoire 中央研究院歴
史語言研究所研究員

道教史における『太平経』の再評価

受入教員 麥谷教授

期間 四月一日、

二〇〇八年三月三十一日

。韓 燕麗 海外華人による文学・映画作品に関す
る研究

受入教員 金教授

期間 四月一日、

二〇〇七年三月三十一日

。SANFT, Charles Theodore ヴェン
スター大学漢字・東アジア学研究所講
師

中国前漢時代の礼と法をめぐる学術思
想

受入教員 富谷教授

期間 四月十日、

二〇〇七年四月九日

。金 麗實 植民地期在満朝鮮人の生活・文化・ナ
ショナルアイデンティティー

受入教員 水野教授

期間 四月十五日、

二〇〇八年四月十四日

。關 瑾華 中國戯曲、俗文学、特別是廣東的説唱
受入教員 金教授

期間 七月十日、

二〇〇七年六月三十日

。LIM Sung yun 植民地期朝鮮の家族制度と法制度に関
する研究

受入教員 水野教授

期間 九月十五日、

二〇〇七年七月三十日

。DE GANON, Pieter Sebastian 近世・近代日本における「肉食」の文
化的意味、歴史、社会関係

受入教員 高木助教授

期間 九月二十日

二〇〇七年八月三十一日

。SCHERRMAN, Sylke Ulrike

青島旧蔵ドイツ語文献中の法制関係資料の調査

受入教員 岩井教授

期間 十月一日

二〇〇七年三月三十一日

外国人研究生

。SOLOMON, Deborah

一九二九年光州学生運動の研究

受入教員 水野教授

期間 二〇〇五年七月一日

二〇〇七年六月三十日 (継続)

。朴 眞煥

韓国における良心的兵役拒否を通してみる韓国社会の徴兵制についてのディスコース研究

受入教員 田中雅一教授

期間 四月一日

二〇〇七年三月三十一日

。SHASHNINA, Olga Vladimirovna

現代日本社会における宗教の役割

受入教員 田中雅一教授

期間 四月一日

二〇〇七年三月三十一日

。SHENDEROVICH, Esther

国際関係における明治期日本の自己表現

受入教員 高木助教授

期間 四月一日

二〇〇七年三月三十一日

。常 雪鷹

日中古典文学の比較研究

受入教員 金教授

期間 十月一日

二〇〇七年九月三十日

。KEET, Philomena

衣類と遊ぶ—日本の若者ファッション現象であるコスプレに見る周縁性、創造力、アイデンティティ

受入教員 田中雅一教授

期間 十月一日

二〇〇七年三月三十一日

。翟 魯寧

中国貴州省安順屯堡地域における「地劇」とそこに生活している女性達の関わり

受入教員 田中雅一教授

期間 十月一日

二〇〇七年三月三十一日

漢字情報研究センター講習会

。二〇〇六年度漢籍担当職員講習会 (初級)

第一日 (十月二日)

オリエンテーション 森 時彦

漢籍について 富谷 至

カードの取り方—漢籍整理の実践

永田知之

第二日 (十月三日)

工具書について 高井たかね

漢字目録カード作成実習

第三日 (十月四日)

目録検索とデータベースの検索

安岡孝一

漢籍データ入力実習 (一)

第四日 (十月五日)

和刻本について 梶浦 晋

漢籍データ入力実習 (二)

第五日 (十月六日)

朝鮮本について 矢木 毅

実習解説 梶浦 晋

情報交換・質疑応答 富谷 至

。二〇〇六年度漢籍担当職員講習会(中級)

第一日(十一月六日)

オリエンテーション

経部について

叢書部について

叢書と漢籍データベース

第二日(十一月七日)

史部について

漢籍データベース実習(一)

第三日(十一月八日)

子部について

漢籍データベース実習(二)

第四日(十一月九日)

集部について

漢籍データベース実習(三)

第五日(十一月十日)

現代中国書について

横浜国立大学大学院国際社会科学

研究科助教授

実習解説

情報交換・質疑応答

お客さま

四月五日 寧夏大学歴史学系教授 杜

建録他一名(岩井、古松が対応した)
五月二十三日 Associate Professor,
Sinologisch Instituut, Faculteit der
Letteren, Universiteit Leiden HAR-

RIET T. Zunderfer 他一名(金、小
野、籠谷、岩井、山崎、小野、阿風が
対応した)

六月七日 中国社会科学学院社会科学文献
出版社社長 謝 寿光他三名(狭間、
森、岩井が対応した)

六月二十六日 華中師範大学教授 章 開
沉他一名(森、岩井が対応した)

九月二十日 韓国外国語大学校教授 朴
星來、韓国科学技術翰林院韓国科学技
術史編纂委員長 宋 相庸他十三名
(金、武田が対応した)

九月二十六日 中国孫中山研究会秘書長
王 玉璞(岩井、森が対応した)

十月九日 パリ国際哲学コレージュ所長
ブリュノ・クレマン(大浦、王寺が対
応した)

十月十七日 中国社会科学院經濟研究所
教授 劉 蘭兮他三名(森、岩井、石
川が対応した)

十二月八日 中国東北師範大学歴史文化

学院教授 曲 曉範他一名(森、石川
が対応した)

十二月十二日 ソウル大学校統一研究所
長 朴 明圭(水野、古市が対応し
た)